

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公表番号】特表 2002-505294 (P2002-505294A)

【公表日】平成 14 年 2 月 19 日 (2002.2.19)

【出願番号】特願 2000-534220 (P2000-534220)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

C 0 7 H 17/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 31/12 1 7 1

C 0 7 H 17/08 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

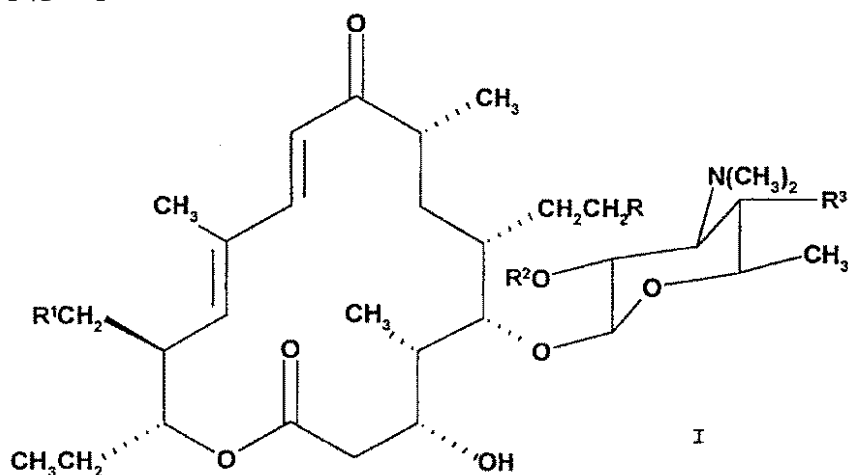
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ブタにおけるウイルスの増殖を抑制するように適応された獣医学製剤であって、式 I の化合物またはそれらの生理学的に許容し得る酸付加塩を含む、該製剤。

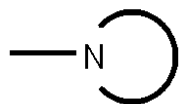
【化 1】



[式中、

R は、式：

【化 2】

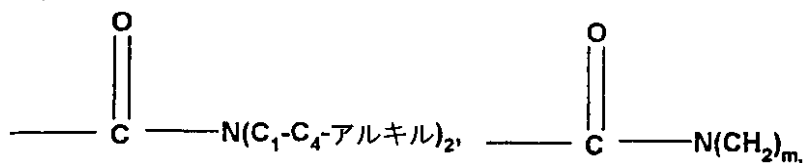


の飽和もしくは不飽和の 3 級アミノ基であって、ここで、

該窒素原子は、5 ~ 16 個の環原子を含有する単環；8 ~ 20 個の環原子を含有する二環もしくは三環；あるいは、

該炭素原子の1つ以上が、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルケニル、 $C_2 \sim C_4$ アルキニル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコシカルボニル、ヒドロキシル、 $C_1 \sim C_4$ アルカノイルオキシ、ハロ、ハロ - $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $-N(C_1 \sim C_4$ アルキル) $_2$ 、 $-N(CH_2)_m$ 、

【化3】

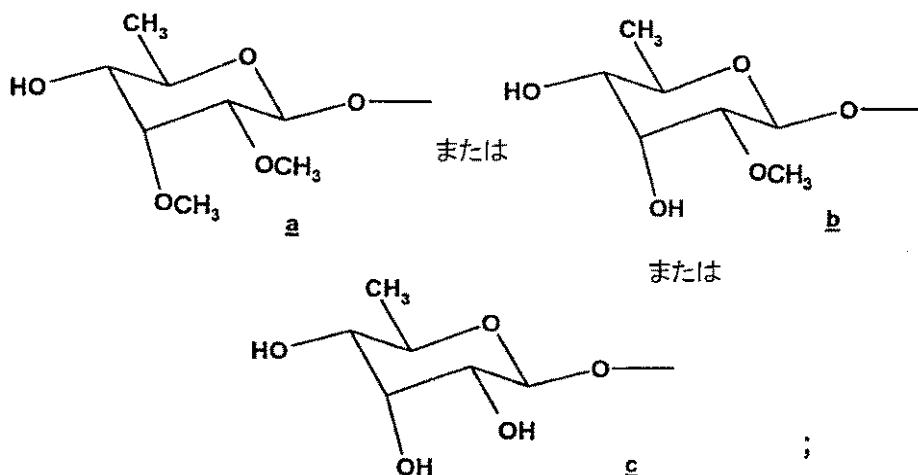


シアノ、エチレンジオキシ、ベンジル、フェニル、または1～3個の置換基（該置換基はニトロ、ハロ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、ヒドロキシ、アミノ、またはモノ-もしくはジ- ($C_1 \sim C_4$ アルキル)アミノから選ばれる）で置換されたフェニルによって置換されたそれらの基、から選ばれる他の炭素環式の一部であり；

m は、4～7の整数であり；

R^1 は、

【化4】

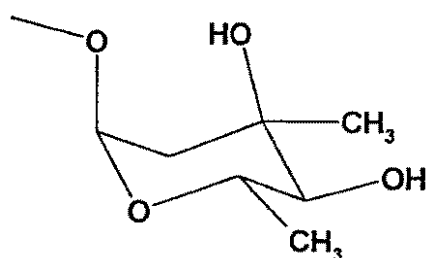


であり；

R^2 は、水素； $C_1 \sim C_5$ アルカノイル；1～3個のハロ置換基を有する $C_1 \sim C_5$ アルカノイル；ベンゾイル；フェニルアセチル；フェニルプロピオニル；あるいは、1～5個のハロもしくはメチル、または1～2個のメトキシ、ニトロもしくはヒドロキシル置換基を有する、ベンゾイル、フェニルアセチルまたはフェニルプロピオニルであり；

R^3 は、ヒドロキシ； $C_1 \sim C_5$ アルカノイルオキシ；1～3個のハロ置換基を有する $C_1 \sim C_5$ アルカノイルオキシ；ベンゾイルオキシ；フェニルアセトキシ；フェノキシアセトキシ；1～5個のハロもしくはメチル、または1～2個のメトキシ、ニトロもしくはヒドロキシル置換基を有する、ベンゾイルオキシ、フェニルアセトキシまたはフェノキシアセトキシ；あるいは、

【化5】



である]

【請求項 2】 化合物はチルミコシンまたはその生理学的に許容し得る酸付加塩である、請求項 1 記載の製剤。

【請求項 3】 化合物はチルミコシン・リン酸塩である、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の製剤。

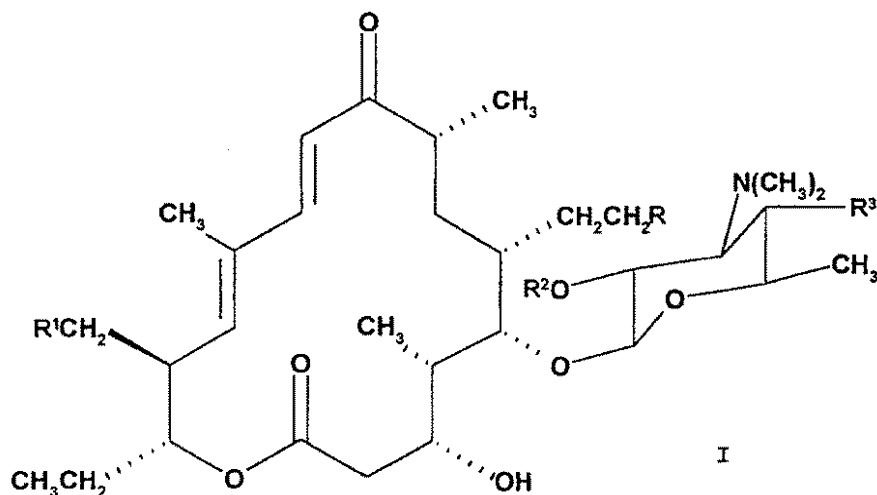
【請求項 4】 ウイルスは S I R S V である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の製剤。

【請求項 5】 ウイルスはレスタッドウイルスである、請求項 1 ~ 3 のいずれかに 1 つに記載の製剤。

【請求項 6】 ブタは交配中の雌ブタである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の製剤。

【請求項 7】 ブタにおけるウイルスの増殖を抑制するのに適当な医薬の製造における、式 I の化合物、その生理学的に許容し得る酸付加塩、またはそのいずれかを含有する獣医学組成物の使用であって、

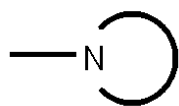
【化 6】



[式中、

R は、式：

【化 7】

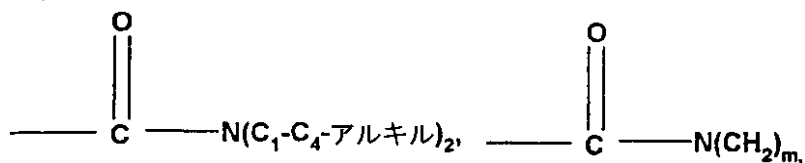


の飽和もしくは不飽和の 3 級アミノ基であって、ここで、

該窒素原子は、5 ~ 16 個の環原子を含有する単環；8 ~ 20 個の環原子を含有する二環もしくは三環；あるいは、

該炭素原子の 1 つ以上が、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルケニル、 $C_2 \sim C_4$ アルキニル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコシカルボニル、ヒドロキシル、 $C_1 \sim C_4$ アルカノイルオキシ、ハロ、ハロ - $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $-N(C_1 \sim C_4$ アルキル) $_2$ 、 $-N(CH_2)_m$ 、

【化 8】



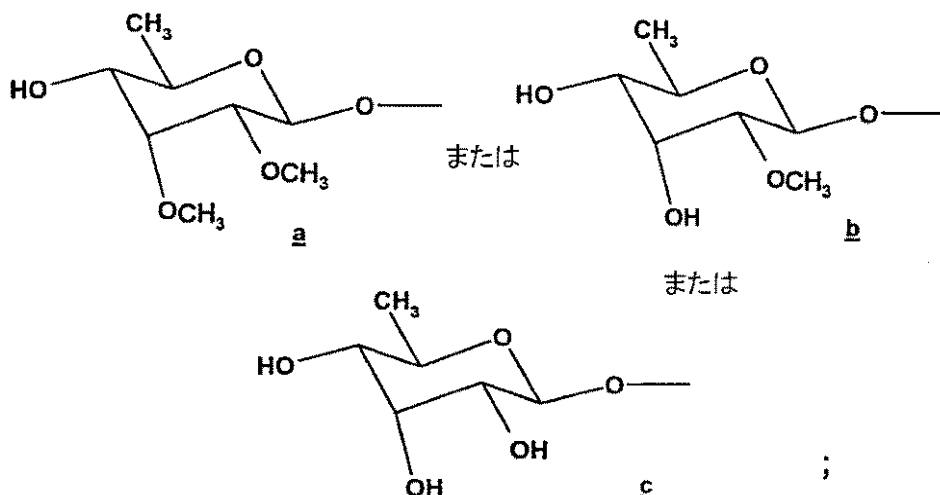
シアノ、エチレンジオキシ、ベンジル、フェニル、または 1 ~ 3 個の置換基（該置換基はニトロ、ハロ、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、ヒドロキシ、アミノ、また

はモノ - もしくはジ - ($C_1 \sim C_4$ アルキル) アミノから選ばれる) で置換されたフェニルによって置換されたそれらの基、から選ばれる他の炭素環式の一部であり;

m は、4 ~ 7 の整数であり;

R^1 は、

【化 9】

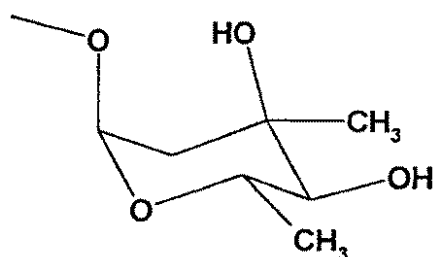


であり;

R^2 は、水素; $C_1 \sim C_5$ アルカノイル; 1 ~ 3 個のハロ置換基を有する $C_1 \sim C_5$ アルカノイル; ベンゾイル; フェニルアセチル; フェニルプロピオニル; あるいは、1 ~ 5 個のハロもしくはメチル、または 1 ~ 2 個のメトキシ、ニトロもしくはヒドロキシル置換基を有する、ベンゾイル、フェニルアセチルもしくはフェニルプロピオニルであり;

R^3 は、ヒドロキシ; $C_1 \sim C_5$ アルカノイルオキシ; 1 ~ 3 個のハロ置換基を有する $C_1 \sim C_5$ アルカノイルオキシ; ベンゾイルオキシ; フェニルアセトキシ; フェノキシアセトキシ; 1 ~ 5 個のハロもしくはメチル、または 1 ~ 2 個のメトキシ、ニトロもしくはヒドロキシル置換基を有する、ベンゾイルオキシ、フェニルアセトキシもしくはフェノキシアセトキシ; あるいは、

【化 10】



である]

【請求項 8】 化合物はチルミコシンまたはそれらの生理学的に許容し得る酸付加塩である、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】 化合物はチルミコシン・リン酸塩である、請求項 7 または 8 のいずれかに記載の使用。